

## 第5回 明石港東外港地区再開発計画検討委員会 議事要旨

1. 開催日時 平成29年10月23日(月) 10:30

2. 開催場所 明石市役所議会棟2階 大会議室

### 3. 出席者(敬称略、50音順)

雨宮 功(兵庫県県土整備部土木局港湾課長)  
伊藤 一(中崎まちづくりの会 会長)  
岩崎 日出夫(兵庫県東播磨県民局加古川土木事務所長)  
大橋 健一(明石工業高等専門学校 名誉教授)  
檜原 一法((一社)明石観光協会 専務理事)  
柏木 千春(流通科学大学 教授)  
酒井 貴司(近畿地方整備局港湾空港部 計画企画官)  
田端 和彦(兵庫大学 副学長)  
西海 正隆(明石商工会議所 副会頭)  
橋本 浩司(明石市連合まちづくり協議会 顧問)  
橋本 幹也(明石市漁業組合連合会 会長)  
福田 成男(明石市理事(技術担当))  
宮脇 俊夫(明石市政策局長)

### 4. 議事

- 1) 第4回委員会における主なご意見と対応
- 2) 委員会の検討経過と今後の予定
- 3) 再開発計画(素案)について

### 5. 主な質問・意見

#### 質問

質問	回答
パブリックコメントの多数の意見について、どのように対応していくのか。	パブリックコメントの意見については、再開発計画に盛り込んでいるもの、今後の施策の参考とするものなどがあります。これらも含め、再開発計画にどの程度の実現性があるかという観点などから事業化可能性調査を行いたいと考えています。
事業化可能性調査はどのように進めるのか。	民間事業者との対話を考えています。 まずは、民間の視点で、再開発計画の内容の市場性の検討及びさらに具体的な提案を掘り起こします。 その結果を踏まえ、公募条件の検討段階で意見を再度伺い、公募条件の設定の参考にしたいと考えています。

## 意見

- 人を活かす・育てるため、発表の舞台など子どもを育成する場が必要。子どもが集まると親も来て、賑わいづくりに繋がる。施設の一室を利用し、子どもの人づくりに活用したいと考えている。
- 明石は「海」を感じることができる貴重な場である。計画地の対岸で、過去に眺望を遮るマンションが建設された際は物議を醸した。今回の計画地では低層の建物を基本として、海が見える景観を守って大事に考えてもらいたい。
- 魚の棚に対しては、計画内容を鋭意説明して頂いているようであるが、引き続き情報提供と、丁寧な説明を重ねて、共存共栄を図っていくべき
- 計画地では、単一的な土地利用ではなく、上手く施設や機能を混在させながら、閑散とする時間帯がないよう、継続的な人の流れを生み出すことが必要。
- 再開発にあたって留意すべき事項において、地域との関わりが強く出ており、事業者は、単純に施設を造って終わりというわけではない。再開発事業や資金回収の期間など、時間軸のことについて、事業化可能性調査においてしっかりヒアリングすべき。
- 明石が目指す将来像については、分かりやすくまとめて報告書に記載すべき。
- 再開発にあたって留意すべき事項に、県民市民・観光客の視点に加え、事業者の視点も記載すべき。

以上